

おもしろ発想ニュースレター

5月になり過ごし易い季節となりました。日中は気温も上がってきましたが、朝晩はまだまだ冷えますので体調管理は万全に、運動もしてゆこうと思っております。

トピックス

最近弊社で裁断の引合があるガラス繊維についての話です。

ガラス繊維は、ガラスを融解、牽引して繊維状にしたものです。繊維状にして使われる場合、一般のアルカリガラスでは表面の劣化による強度の低下が著しいため、原料として使用されるガラスには、石英ガラスなどの無アルカリガラスが使われています。ただしグラスウール用途では一般のガラスも使用可能です。ガラス繊維の主な用途はプリント基板や繊維強化プラスチック（FRP）です。プラスチックにガラス繊維を混合して固めることで、プラスチック単体では得られない高強度、高靱性を持つ軽量な材料を得ることが出来ます。ただし、強度については経年劣化が生じ、使用開始後3-5年程度でも破損することがあるので、スポーツ用具やヘルメットなど人命に関わる用具に使用する際には注意が必要です。なお、「グラスファイバー」と書いた場合、暗にガラス繊維強化プラスチックを指すことがあります。かつては高価な素材でありましたが、日本では1970年代後半頃から建築用の採光屋根材や、小型船舶のハル（船体）、釣り竿など、広く民生品に普及し始めました。ガラス繊維を綿状や板状に加工して耐熱断熱材（グラスウール）として使われる他、スタッドレスタイヤのひっかき材としても使用されています。また、繊維としては引張強度が比較的高いとされ、膜構造建築物などにも利用されています。その際、ガラス繊維単独では耐候性が不十分であるため、コーティングが施される事が多いそうです。無機繊維であることからアスベスト同様の健康被害が懸念されておりますが、国際がん研究機関の発癌性評価によれば、断熱材に使用されるグラスウール、FRPなどに使用される長繊維については区分3（発がん性を分類できない）に分類されており、安全性は高いとされています。最後に、安全性は高いので安心ですが、私達が裁断のテストを行うと細かな繊維が体に刺さっているのかわかりませんが、チクチクしてかゆくなるのも特徴です。

ご意見・お客様の声などを書いて返信して下さいね。

ニュースレターの配信がご不要の方は配信を止めさせて頂きますのでお手数ですが、上記欄にFAX番号を記入の上ご返信して下さい。宛名に覚えの無い方も配信を停止しますのでFAX番号を記入してご返信下さい。お名前だけですと停止手続きができない場合がございますので必ずFAX番号の記入をお願い致します。



No.155
平成28年5月16日

展示会情報

5月26日（木）～27日（金）に開催される大阪テクノロジーフェアに出展致します。サービスロボット開発技術展2016と同時開催となっており、認識技術・制御技術・駆動技術の展示及び中小企業・ベンチャー企業が出展しております。弊社出展機種は、大好評頂いております『スリット付スタック☆カッター』を展示致します。



皆様のご来場をお待ちしております。是非お立ち寄り下さい。

会期 2016年5月26日（木）27日（金）
10:00-17:00
会場 インテックス大阪 2号館
小間 5-16（2号館）

主催者ホームページ <http://www.srobo.jp/>

サ プ リ ナ 株 式 会 社
ニュースレター担当者: 岩佐 雅美
TEL: 0725-22-4801
FAX: 0725-23-3486
<http://www.suprena.co.jp>